

放課後子ども教室「小久慈っ子☆フレンドパーク」がはじまります

久慈市では、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、各市民センターで放課後子ども教室を実施します。

小久慈小学校児童を対象とした小久慈っ子☆フレンドパークでは、放課後子ども教室コーディネーターが中心となり地域の方がサポーターとして子供達を見守ります。

今年度はコロナ感染拡大防止のため定員を60人までとし、6月4日まで募集しますのでお申し込みはお早めに。

6月17日(木)から主に木曜日に放課後子ども教室を実施し、宿題をしたり遊んだり、異学年や地域の方と交流し、安全で楽しい放課後の居場所を提供します。



事業報告「認知症勉強会」

4月28日認知症勉強会を行いました。

参加者9名は地域包括支援センターの「認知症施策」について説明を受けた後、「宮城の認知症をともに考える会・おれんじドア 代表 丹野氏による講演「認知症と仕事。認知症とともに生きる」を視聴し、「認知症の当事者の声を聴くことが大切。その方のやりたいことを奪わない。どのようにしたら今までの生活を続けられるかを周りが一緒に考えること」等が大事であることを学びました。



認知症に対する偏見から周りに打ち明けられずに重度になってしまいがちですが、軽度のうちにオープンにして、自分がどのようにしたいのか周りに伝えること。そのためには周りが偏見ではなく、優しさを持つことが大切であることを学びました。

意見交換では多くの質問があり、「NPO法人 元気でらす縁 根井理事長」からも答えをいただきました。「誰もがなり得る認知症について、偏見を無くし、普通に支えられる地域になれば、認知症の当事者も家族も、認知症でない人にとっても安心して住みやすい地域になる。人と人のつながりが大切である」ことを学びました。参加者は、小久慈地域でもそのような地域を目指そうと、今後も地域全体で学ぶ必要性を感じた様子でした。

地域包括支援センターからも「このような研修会の機会を提供したいので、開催したい場合は、市民センターを通じてでもいいのでご連絡ください」とのことでしたので、お気軽にお声がけください。

事業報告「盆踊り太鼓教室」が始まりました

5月21日から、定員14名のところ14名の申し込みにより盆踊り太鼓教室を開催しております。皆様の盆踊り太鼓への関心の高さが伺えます。

初回は講師の中塚由美子氏から盆踊りナニャドヤラについてのいわれや思いについて聞いた後に、まずは盆踊りを踊ってみました。初めてやる方も久しぶりの方もいて、私も含め滑らかに踊るのはなかなか難しいものですね。

続いて太鼓は「2つ」「3つ」というリズムのうち、初日は「2つ」というのを行いました。

初めはぎこちない感じでしたが、動きも皆さんだんだんと慣れ、徐々にリズムよく打てるようになってきています。

この教室は、地域の伝統文化の継承を図るとともに地域の盆踊り大会における太鼓の担い手育成及び地域行事に参加する人材育成、サークル活動へつなぐ仲間づくりを目的に、毎週金曜日6月11日まで開催します。



～未来づくり事業 小久慈焼チーム～ 小久慈焼陶芸苑の環境整備を行いました

小久慈焼チームは、4月24日（土）に小久慈焼陶芸苑周辺の環境整理を行いました。今回は、チームメンバーと地域振興課、集落支援員、小久慈市民センター12名で草刈りを行いました。

チーム活動は4年目となり、こうした環境整理は、年3回行っています。

ゴールデンウィーク前とお盆前には草刈りを、秋は落ち葉の収集を行い、利用者が快適に使用できるような活動を続けています。

また、小久慈焼き陶芸教室も開催しており、今年は小久慈朝市との抱き合わせ企画を新型コロナウイルスの状況も見ながら検討しています。

小久慈焼チームを含む小久慈ふるさと未来づくり事業各チーム

（朝市・桜・カフェ・小久慈焼）では、一緒に活動する方を募集しています。

活動に興味のある方は、小久慈市民センターまでお問い合わせください。



市民センター敷地内の草取りをしていただきました

5月25日（火）、ピンポングループ夢の会の皆さんが市民センター敷地内の草取りをしてくださいました。花壇の草がきれいになり、市民センター利用者も気持ちよく利用できます。大変ありがとうございました。



（有）マルヒ製材さんから、ヒノキにレーザーで彫刻した「小久慈市民センター」の看板を寄付いただきました。ありがとうございました。

小久慈市民センター